

ワケネギ「東京小町」の秋植えおよび夏植え栽培での定植日が生育に及ぼす影響

沼尻勝人・野口 貴・海保富士男・木下沙也佳  
(園芸技術科)

---

**【要 約】**秋植えで4月に収穫するには、11月定植では遅く、10月に定植する必要がある。しかし、10月定植はその後の抽苔リスクが高いことから、5月以降に収穫する場合は、11月定植が有効である。6月の夏植えでは、遅くとも11月上旬までには収穫期に達する。

---

**【目 的】**

ワケネギ「東京小町」の栽培特性を把握するため、昨年度まで苗の植え付け深度や定植時の根量の影響を調査してきた。一方、定植日と生育については不明な点が残されている。本試験では秋植えおよび夏植えにおいて、定植日が生育に及ぼす影響を明らかにする。

**【方 法】**

秋植えでは、2017年10月2日および23日、11月9日、29日に「東京小町」を露地に定植し、慣行栽培した。すべての定植日において、ユーラックカンキ4号をトンネル被覆する区を設け、12月21日から2018年3月30日まで被覆した。収穫調査は4月26日に行い、5月25日には、抽苔株数を調査した。夏植え栽培は、2018年6月8日および18日に定植し、慣行栽培した。収穫調査は11月6日に行った。いずれの試験区も基肥はN-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>Oの成分量で20-24-20kg/10aとし、畝幅70cmで白黒マルチを施し、1本植えとした。

**【成果の概要】**

1. 秋植えにおいて、トンネル被覆すると草丈および分けつ数、1本重が増加し、生育を進める効果が認められた(表1)、調査日の4月26日時点では、可販本数および可販重量は有意に増加しなかった。ただし、トンネル被覆で分けつ数が有意に増加していることから、その後の増収効果が見込めた。また、定植日は10月2日から遅いほど生育は遅れたが、11月9日以降の定植では顕著に遅れ、4月の収量は10月定植より劣った。
2. 定植日が早いほど生育は進んだが、10月定植は11月定植より抽苔が有意に多くなった(図1)。11月9日および11月29日定植では、5月25日時点でも抽苔株率は15%以下と少なく、収穫(出荷)可能な株が多く残っていた。
3. 6月の夏植え栽培では、11月6日には収穫期を迎えた。しかし、本年は例年より高温乾燥に見舞われ、特に夏の生育が遅く、定植後100日程度では収穫できなかった(表2)。今回、定植日を10日ほどずらしたところ、分けつ数の多少で20~30%の収量差を生じることが分かったが、さらに収穫期を含めて継続的にしていくことが必要と考えられた。

**【残された課題・成果の活用・留意点】**

1. 「東京小町」の周年栽培体系において、経時的な生育・収量の推移を明らかにすることは栽培マニュアル化の上で重要である。
2. 「東京小町」は施設栽培にも適していると考えられるので、施設での有効利用についても検討する必要がある。

表1 ワケネギ「東京小町」の秋植えにおけるトンネル被覆および定植日が収量に及ぼす影響

トンネル <sup>a</sup>	定植日	草丈 (cm)	分けつ数 (本)	可販本数 (本)	可販重量 (g)	1本重 (g)
無	10/2	61 a	16 a	17 a	583 a	35 a
	10/23	56 b	15 ab	11 b	406 b	37 a
	11/9	55 b	12 b	7 c	278 c	40 a
	11/29	54 b	8 c	6 c	211 c	34 a
有	10/2	63 a	18 ab	17 a	567 a	35 b
	10/23	60 a	19 a	10 b	443 b	42 b
	11/9	56 b	17 ab	6 c	307 c	49 a
	11/29	60 a	15 b	9 c	308 c	36 b
要因効果 <sup>b</sup>	トンネル	*	**	n.s.	n.s.	**
	定植日	**	**	**	**	**
	交互作用	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	*

a) トンネルは、ユーラックカンキ4号を12月21日～3月31日まで被覆した。4月26日調査。b) 分散分析により\*\*および\*は1%および5%水準で有意差があり、n.s.は無いことを示す(n=6)。

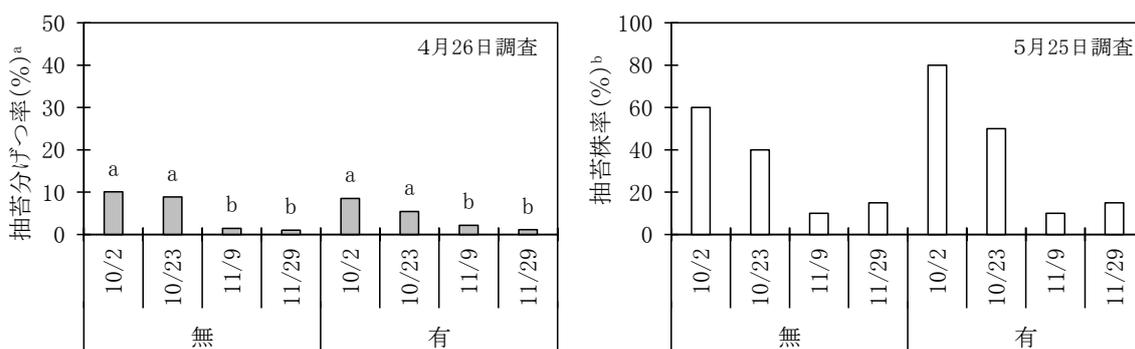


図1 ワケネギ「東京小町」の秋植えにおける抽苔分けつ率および抽苔株率

図中の異なる英文字間にはTukey法により5%水準で有意差がある。a) 株あたりの抽苔が確認できる分けつの割合とした。b) 生育中庸な20株のうち抽苔が確認できた株の割合とした。

表2 ワケネギ「東京小町」の夏植えにおける定植日が収量に及ぼす影響

定植日	調整前		調整後				
	草丈 (cm)	株重 (g)	総数 (本)	総重量 (g)	可販数 (本)	可販重量 (g)	1本重 (g)
6月8日	70	905	28	690	22	612	28
6月18日	62	768	21	555	18	506	29
有意性	**	n.s.	**	*	*	*	n.s.

注) 11月6日調査, \*\*および\*は、t検定により1%および5%水準で有意差があり、n.s.は無いことを示す。